

静岡県の板金事業会社が自社工場 3層構造の不織布マスクの製造スタート

株式会社有馬技研（静岡県掛川市、代表取締役 有馬浩司）は、自動車の試作部品製造で培ったものづくりのノウハウを活用し、本年7月より3層構造の不織布マスクの製造を開始しました。

きっかけは、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、マスクが一時入手困難な状況となり、粗悪品が高値で出回っていたことに社長の有馬が心を痛めたことによります。また、当社のものでづくりのノウハウをマスク製造に活用することで、社会に貢献できるのではと考えました。

マスクの製造工程においては、製造機自体の設計から行い、クリーンルーム（ISO規格 class5 相当）での加工から製造までの工程を自社で行います。材料となる不織布も国内製造のもの、つまり MADE IN JAPAN にこだわり、マスク本体はオゾン殺菌・脱臭し、衛生面にこだわり商品化を進めてまいりました。

また、製造機はエアシリンダでの駆動が一般的ですが、当社では電動シリンダによる駆動とし、耐久性も追求し機械も MADE IN JAPAN にこだわっています。今後はマスク製造機本体の販売も行う予定です。

商品の特長は、以下の通りです。

- ①花粉やハウスダスト等を99%カット
- ②柔らかな肌触り
- ③息苦しくない通気構造

商品スペックは、以下の通りです。

- 品名：不織布マスク
- 材質：不織布 ポリプロピレン
耳ゴム ポリエステル/ポリウレタン
ノーズ ポリプロピレン

サイズ：約95mm x 175mm

入数：50枚

製造地：静岡県掛川市



今後、一般家庭からオフィス、工場や倉庫等、あらゆるシチュエーションで活用していただけるよう販売に注力してまいります。